

秋林たかし ちば県政報告

令和3年 冬号



千葉県では、新型コロナウイルス、自然災害、交通事故など対処すべき課題が山積しています。議会活動を通しながら一歩一歩、課題解決に取り組んでまいります。

令和3年度の県議会で取り上げた内容について、その一部をご報告いたします。

6月予算委員会

新型コロナウイルス対策の強化を

Q 障害のある方へのワクチン接種の副反応等の周知徹底と接種方法についてどう考えているか。

A 障害のある方が安心して接種が受けられるよう、不安に思われる点について、わかりやすいリーフレットやSNS等を活用して周知徹底に取り組んでいます。また、ワクチン接種を受けるにあたっては、公的福祉サービスによる支援が必要な場合などもあることから、障がいのある方への早めの相談を促すなど、障がいの特性に配慮した適切な接種体制が提供されるよう市町村へ通知しました。

災害被災者支援の拡充を

Q 台風など災害で被災された方を支援する「千葉県被災者生活再

要望 障害を持った方へのワクチン接種について、関係者と協議しながら、安心して速やかな接種ができるように体制づくりをしていただきたい。

「建支援助事業」の適用要件の緩和への取り組み状況はどうか。

A 事業の適用要件については、これまで連たんする市町村で10世帯以上の全壊などの場合に適用することにしてきたところを、連たんしていなくても全県で10世帯以上の全壊がある場合や、1市町村で5世帯以上の全壊がある場合も適用する方向で検討しているところです。さらに、対象となる住宅被害については、これまで大規模半壊までとしていたものを中規模半壊まで拡大することを考えています。今後、市町村と調整のうえ、令和3年8月中を目途に改正を行う予定です。

医療的ケア児への支援を

Q 医療的ケア児支援に欠かせない看護師をどのように養成しているのか。

A 県では、訪問看護師等を対象として必要な技術の習得を図るための研修を実施しています。また医療的ケア児支援法において、地方公共団体に対して人材を確保することが求められていることから、今後、県で設置した千葉県医療的ケア児等支援地域協議会等の意見を聴きながら、看護師の養成の在り方等について検討し、関係機関と連携して取り組んでいきます。

要望 一人でも多くの看護師が医療的ケア児に関わってくれられるような対策の推進を要望します。

交通事故対策の強化を

Q 速度違反を取り締まるため、持ち運びができる可搬式オービスの導入を進めてきたが、効果はどうか。

A 可搬式オービスを導入したことにより、これまで取締りが困難であった通学路や生活道路での取り締まりが可能となりました。取り締まりを実施した現場付近の住民の皆様からは「車の通過速度が速くて危ない」と思っていたが、取締り後、通過する車両の速度が下がった」「また、取締りをしてほしい」と旨の意見が寄せられるなど反響は大きく、重大事故抑止に効果が期待できるものと認識しています。

県立高校トイレの洋式化推進を

Q 県立高校トイレの洋式化について、どのように考えているか。

A 県立高校のトイレの洋式化については、教育環境における課題と認識しています。

これまで、普通高校の各階の男女トイレの少なくとも一箇所ずつは、洋式トイレとするように整備を進めてきたところであり、本年6月までに全校の整備が完了しました。引き続き洋式化を進めます。

↓県立高校の体育館に設置されているトイレについても、少なくとも男女一箇所ずつは洋式トイレ整備が完了しています。

9月県土整備常任委員会

県営住宅の維持・拡充を

Q 県営住宅の街灯について、入居者の負担軽減と脱炭素社会への貢献のためLED化の導入を進めるべきではないか。

A LED化については、省電力化により入居者の負担軽減となるほか、脱炭素社会の実現の貢献にもなることから、今後、他の自治体の動向なども踏まえてLED化の手法について検討していきます。

トピックス

令和3年4月に就任した熊谷県知事に対し、新型コロナウイルス感染症や医療・福祉、子育てなどに関して、要望書の提出や意見交換を通して県民の声、現場の声を伝えていきます。

県民の暮らしを守るという共通の目的を果たすために、協力して取り組むたいと思います。

